

シラバス

2025 年度

ファインアート科 1 年

学校法人高澤学園 美術造形専門学校

創形美術学校

ファインアート科 / ビジュアルデザイン科 / 研究科

ファインアート科
シラバス

学科科目：前期学科授業名：「文章技法論」担当教員：太田克彦

授業期間：2025年4月9日(水)–9月24日(水)

授業時間：11：00–12：30

修得単位：1単位

学習目標：文章を書くことに対する苦手意識をまず払拭し、言葉をつなげる作業の楽しさを実感する。このトレーニングにより、言葉が美術制作をするときに、色や形や空間を構成するうえでより効果を上げていく役割を果たせるようにする。

授業内容：伝えるための道具として言葉を使う前に、しりとりや回文、川柳といったナンセンスやリズムによる言葉遊びから始める。与えられたキーワードで絵を描いたあとから作文するという方法により、想像力を広げていく。

学科科目：前期学科授業名：「日本美術史A」担当教員：北進一

授業期間：2025年4月11日(金)–9月26日(金)

授業時間：11：00–12：30

修得単位：1単位

学習目標：古代から中世までの日本美術は、東アジア文化圏の産物の一端として、そのイメージの源泉のほとんどを朝鮮半島や中国大陸に求めることができる。本講は、仏像・仏画・絵巻物・水墨画などを取り上げ、朝鮮や中国の作例と比較して、それらの造形（イメージ）の本質を具体的に追求してゆく。日本美術史を従来の様式論でおさえるのではなく、イメージの解釈という新たな視点から日本文化史の中に位置づけて探求してみたい。

授業内容：最初に法隆寺金堂釈迦三尊像や玉虫厨子、広隆寺弥勒菩薩半跏思惟像など飛鳥時代の仏教美術から始まり、奈良時代の興福寺阿修羅像や東大寺法華堂不空罽索観音像、平安時代の神護寺薬師如来像と東寺講堂諸仏、平等院鳳凰堂阿弥陀如来像、平安仏画、鎌倉時代の運慶仏などの仏教美術を通観する。その後、平安末期の信貴山縁起絵巻や鳥獣戯画、室町時代の雪舟・雪村などの水墨画を取り上げ、古代・中世の日本美術の本質を探ってゆく。

学科科目：選択学科(前期・後期)授業名：「英会話(共通)」

担当教員：Tim Whalen

授業期間：2025年4月10日(木)–2026年1月29日(木)

授業時間：9：20–10：50/ 11：00–12：30

修得単位：4単位

学習目標：芸術やデザイン分野で活躍しようと思っている人たちに役立つ表現および単語に焦点を合わせて基本英会話レッスン。

授業内容：海外の友達と会話するときや、芸術・デザインの世界の現場で英語を使うときでも、スムーズにコミュニケーションができるように、レッスンはフリートーク、リスニング演習、簡単なテキスト（プリント）の三つの部分に分けられています。リラックスした雰囲気の中で自分の英語力を伸ばしましょう。

学科科目：前期学科授業名：「日本語B（留学生対象）」**担当教員**：メロス言語学院

授業期間：2025年4月10日(木)–9月25日(木)

授業時間：9：20–10：50/ 11：00–12：30

修得単位：2単位

学習目標：テーマに沿って、且つ他者の意見も踏まえて、自分の考えや経験などを適切な日本語でわかりやすく語れることを目指します。

授業内容：各回で定められたテーマに沿った会話活動を行います。必要に応じ、日本事情・周辺知識にも触れていきます。

実技科目：前期実技授業名：「デッサン基礎」

担当教員：伊藤泰雅、工藤礼二郎

授業期間：2025年4月9日(水)-4月12日(土)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：1単位

学習内容：デッサンの考え方に対する講義と鉛筆による静物デッサンを2枚制作する。

1枚ごとに講評を行う。

授業内容：デッサンは「描く」ことから成り立つ絵画、版画、イラストレーションすべての表現媒体の根幹をなすものである。この授業では描くための技術力の向上と同時にデッサンに対する考え方を理解する。

実技科目：前期実技授業名：「グリザイユ」 担当教員：工藤礼二郎

授業期間：2025年4月14日(月)-4月19日(土)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：2単位

学習内容：油彩画の成り立ちを知り、写実的表現の基本を理解、習得する。

彩画ひいては絵画の物理的構造や組成を理解することは再現的技術力の向上につながるるとともに今後の自己表現を紐解く礎となる。

授業内容：モノクロームの油彩画（グリザイユ）を伝統的な技法に基づいて制作する。

モチーフは人物写真を使用する。

実技科目：前期実技授業名：「版画基礎」 担当教員：鈴木吐志哉

授業期間：2025年4月21日(月)–5月13日(火)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：2単位

学習内容：この授業では様々な版画の技法を体験します。版画で遊びながら「技法の力」を実感し、自分のイメージを成長させることをこの授業の最大目的とします。そして版画というフィルターを通すことで、自分の作品の別の顔に出会うことを目標とします。

授業内容：版画の技法から生まれる表現を体験しながら探る授業です。まずフロタージュから始まりモノタイプやシルクスクリーンなど、直接描くことでは得られない間接表現の魅力を学びます。さらに本校収蔵の葛飾北斎「神奈川沖浪裏」復刻版の版木をキーワードに、自由な表現による木版画へと展開させてゆきます。

実技科目：前期実技授業名：「イラストレーション基礎」 担当教員：須田浩介

授業期間：2025年5月13日(火)–5月24日(土)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：2単位

学習内容：イラストレーションの基礎課程として、1年次前期にしっかりと基礎力を身に付けます。デッサンや様々な技法に触れ表現する上でのしっかりした骨組みとなる授業と、作品表現するうえで重要なアイディアの柔軟さや閃きユーモアや瞬発力の部分を伸ばし拡張するための課題制作を行います。

授業内容：与えられたテーマに対してイラストを制作する上で個々の持つ個性を活かしながらより魅力的な作品表現となる様にテーマに対しての柔軟な捉え方や作品の見せ方コンセプトを自分の表現や世界観に昇華していく為の授業です。

実技科目：前期実技授業名：「人物デッサン」

担当教員：室井公美子、工藤礼二郎

授業期間：2025年5月26日(月)-5月31日(土)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：1単位

学習内容：人物デッサンは、観察力、描写力、表現力、人体構造の理解、集中力、自己表現力を総合的に高める課題であり、技術向上に加え、人間的な成長も促します。

授業内容：人体デッサンでは、人体の構造やプロポーションをしっかりと理解し、正確さと表現力を兼ね備えた描写力を身につけます。骨格や筋肉についての解剖学的知識を学びながら、実際のモデルを描くことで実践的な技法を習得していきます。観察力を磨き、自分ならではのデッサン表現を追求することを目指します。これらの技術は、イラストなど多様な表現活動の基礎にもつながります。

実技科目：前期実技授業名：「人物着彩」

担当教員：室井公美子、工藤礼二郎

授業期間：2025年6月2日(月)-6月7日(土)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：1単位

学習内容：この授業では、単に人体の再現的描写にとどまらず、それを取り巻く空間との関係性や近代以降の人体表現の在り方を様々な角度から検証する。

授業内容：人体コスチュームモデルを固定ポーズにより描画する。

実技科目：前期実技授業名：「銅版画1」 担当教員：長島 充

授業期間：2025年6月9日(月)–6月21日(土)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：2単位

学習内容：銅版画の基本的なエッチング技法での制作により版画に親しんでもらう。「自然物」をモチーフに線描と点描によるモノクロームの描写力・表現力を養う。

授業内容：腐食銅版画の中で最も基本的な技法であるライン・エッチング技法によりモノクロームの銅版画1点(18×24 cm)を制作します。ドローイングにも感覚の近い線描と点描を用いて自然物を観察し銅板という物質に表現していきます。

学校法人高澤学園

創形美術学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2

TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982

URL <https://www.sokei.ac.jp/>

E-mail: sokei@sokei.ac.jp